

公益社団法人愛知県医師会 第30回(定例)理事会議事録

開催日時：平成29年1月19日(木) 午後4時00分～午後4時55分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木充明

副会長(代表理事)／横井 隆

理事／吉田 貴 加藤雅通 大輪芳裕 西山 朗 横尾富二

樋口俊寛 伊藤富士子 縹纈雅明 細川秀一 森 孝生

野田正治 林 義久 羽生田正行 浅井清和

監事／可世木成明 川上雅正 野口良樹

代議員会議長／伊藤宣夫

代議員会副議長／杉田洋一 山本 楠

欠席者

副会長／城 義政 市川朝洋

理事／伊藤健一

議事録作成者 加藤結花

※加藤理事、樋口理事遅刻のため、承認事項1～6は、20名(うち理事14名)にて審議した。

※加藤理事遅刻のため、承認事項3は、承認事項7の後に行った。

※柵木会長離席のため、報告5は横井副会長が議事進行を行った。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者22名(うち理事16名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事

—承認事項—

1. 庶務関係事項について

(1)石川県医師会(会長 近藤邦夫)の行う第4回「大災害時の医療支援を考えるフォーラム」[3/12(日)]への講師派遣について

樺尾理事より説明され、本会の細川理事を派遣することが承認された。

2. 委員会・部会、講演会等(本会主催分)の開催について

柵木会長より、以下の No. 1 の本会主催の委員会・部会、講演会等の開催について承認を求め、承認された。

No.	開催日	名称	開催場所	担当理事
1	3/13(月)	平成 29 年度定期健康診断における精度管理説明会	6 階研修室	瀬戸理事 吉田理事

3. 平成 28 年度医療事務員資格認定試験結果及び認定証の送付について

加藤理事より説明され、平成 28 年 12 月 14 日(水)に行った資格認定試験の結果、受講者 74 名中、受験者は 67 名で、67 名全員が合格となった。合格者に医療事務員資格認定証を授与することが承認された。

なお、受講者 74 名中、3 名が欠席され、4 名は出席日数不足等で受験資格の与えられなかつた受講者であったと補足された。

4. 優良助産師の厚生労働大臣表彰受章候補者の推薦について

大輪理事より説明され、矢野真理氏(藤田保健衛生大学)、真野真紀子氏(名古屋第一赤十字病院)、春田直美氏(豊川市民病院)の 3 名を推薦することが承認された。

5. 日本准看護師連絡協議会への会議室等の貸し出しについて

大輪理事より、日本医師会が支援団体となっており、昨年 11 月に設立された。

10 月 27 日(金)に研修会を予定しているが、財政基盤が盤石ではないため、802～804 会議室及び備品の使用について協力依頼があった。使用料の免除についても併せてお願いしたいとのことであると説明され、承認された。

柵木会長より、開催にあたり、参加者の見込みについて質問され、大輪理事より、准看護師は精神科の病院に多く在籍しているため、A 会員及び精神科病院へ周知し、参加を募りたいと応えられた。

6. 厚生労働科学特別研究事業 高齢化社会における死因究明の推進に関する研究分担研究者・研究協力者の委嘱について

細川理事より説明され、私(細川理事)の委嘱が承認された。

なお、第 1 回目の会合は 1 月 26 日(木)に開催される。

—協議事項—

7. 平成 29 年度事業計画(案)について

横井副会長より、平成 29 年度の事業計画(案)については、3 箇所変更をするが、事業については大きな変更はないと説明された。

修正

4. 医療政策・医事法・医業経営の調査・研究

②愛知県医師会地域医療政策研究機構に関する事項

・愛知県医療構想の構築→愛知県医療構想の分析・評価・研究

今年度で構築は終了しているため、分析・評価・研究を行うと修正。

追 加

7. 救急医療・災害医療対策

⑦小児救急対策

平成 26 年度の事業見直しの際に、医療連携体制推進事業の「愛 i レシピ」から、“小児救急の連携強化の調査・研究を目的とした事業”へ内容の変更を行ったものであり①救急医療体制整備に含めていた。

新規事業ではないが事業計画上に明示。

削 除

15. その他

③会員名簿の発刊に関する事項

今年度発刊し、終了しているため、削除。

これに伴い、細目④の番号を③に繰り上げた。

資料としてお配りしている(案)の内容を確認の上、修正等があれば庶務課までお知らせいただき、次回理事会で最終決議し、第 178 回(臨時)代議員会 [3/18(土)] に報告いたしたいと説明された。

5. 平成 29 年度予算(案)について

西山理事より、補助金・委託金事業については、既に承認を得ているため割愛し、自主事業についても検討済みで、結果を基に平成 29 年度予算(案)を作成したとされ、28 年度との比較について説明された。

9 頁：事業活動収入

大科目 6. 委託金収入 中科目 14. 医師確保対策推進事業委託金収入

求人医療機関・求職に対し、きめ細かな対応を行うため 1.7 倍の増額を要望し、450 万 1 千円増額。

10 頁：事業活動支出

大科目 1. 事業費支出 中科目 24. 学校保健部会費支出

若年者心疾患生活習慣対策協議会総会を本会主催で開催するにあたり、125 万 2 千円の増額。

11 頁：事業活動支出

大科目 1. 事業費支出 中科目 38. 男女共同参画事業費支出

男女共同参画フォーラム全国大会を本会主催で開催するにあたり、699 万 5 千円の増額。但し、日医の補助金があり、本会負担額は 200 万円以下になる見込。

11 頁：事業活動支出

大科目 1. 事業費支出 中科目 53. 愛知県医師会設立 70 周年記念事業費支出

今年 11 月 25 日(土)に開催。

2,520 万円の計上であるが、内 940 万円は医師会史の作成費となる。

資料としてお配りしている(案)の内容を確認の上、修正等があれば経理課までお知らせいただき、次回理事会で最終決議し、第 178 回(臨時)代議員会 [3/18(土)] に報告いたしたいと説明された。

9. 「愛知医報」の販売単価について

纏締理事より、現在の販売単価は 1 冊 515 円(税込)であるが、将来予想される消費税率の変動や、税別価格に端数が出る点等を考慮し、平成 29 年 4 月から、1 冊 500 円(税別)に変更したいと説明され、承認された。

10. その他

一報告事項一

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 中部医師会連合第7回常任委員会〔1/11(水)〕について

(中部医師会連合主催：名古屋マリオットアソシアホテル)

柵木会長より、一番話題となった「道路交通法改正に関するかかりつけ医向け診断書作成」については、本日行われた県下医師会長等協議会で野田理事より説明がなされたため割愛するとされた。

かかりつけ医が診断するのか専門医療機関での診断とするか、また、報酬については、公費とするか保険診療とするか、自費とするか等問題点は多々あるが、新たに決定された事柄については、担当の野田理事へ報告すると発言された。

2. 日医平成28年度第2回救急災害医療対策委員会〔1/11(水)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

細川理事より、今回は、テレビ会議システムにより参加したと報告された。

諮問事項である「1. 地域の救急災害医療におけるかかりつけ医の役割～地域包括ケアシステムにおける災害医療を中心に～」、「2. JMAT活動の課題と対策～コーディネーター機能を中心に～」については、ワーキンググループにより検討することになったと説明された。

3. 日医第1回小児在宅ケア検討委員会〔1/13(金)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

野田理事より、横倉会長からの諮問事項は「小児在宅ケア供給体制の整備に向けた課題とその対策～医師会の役割～」であり、今回は各委員の自己紹介と問題点についてのフリーディスカッションが行われたと報告された。この中で在宅小児に対しては高齢者のケアマネのような存在は相談支援専門員が相当するが、各都道府県において支援専門員の数に差があり、小児在宅に特化しているわけではないのでスキルに差があり、経済的にも恵まれているといえないので今後の課題であると説明された。次回から個別の問題について討議される予定であると説明された。

【本会関係会議について】

4. 全国健康保険協会愛知支部と公益社団法人愛知県医師会による意見交換会

〔1/11(水)〕について

(5階医師連盟会議室)

加藤理事より、従来協会けんぽの依頼を受け、傷病手当金審査に携わってきたが、審査方法の変更を契機に本会の役目を終えることとなった。双方、情報共有をしていく上で、今回初めて意見交換会という形式での開催となったと報告された。

①～③は全国健康保険協会愛知支部よりの要請。④は愛知県医師会からの要請で

ある。

①限度額適用認定証の利用促進策について

入院前及び入院中(その月のうち)に限度額適用認定証を取得し、病院窓口に提示することにより、その月の医療費から自己負担限度額の範囲となる。高額療養費制度と異なり、償還払い申請の手間が省略できるため利用促進をお願いしたいとの要請であった。

②治療用装具関係の適正化について

整形外科系の装具の作成にあたり、保険請求のみならず、患者に対しても請求をする重複請求が見られるので是正するよう依頼された。

また、愛知県は装具に関する請求案件が全国的に高いという指摘も受け、併せて整形外科医会へ要請し適正化を図ることとする。

③第三者行為による傷病届の提出促進について

自動車事故の場合は、加害者が加入している損害保険を極力利用していただきたい。健康保険での治療も可能であるが、傷病届の提出が必要となるので、その際は傷病届の提出を速やかに行うよう促進していただきたいとの要請であった。

④東海北陸厚生局への情報提供について

ただ単に高点数であるというだけの個別指導ではなく、問題のある医療機関についての個別指導をお願いしたい。疑義のある案件については、法に基づいた指導ができるので、まずは支払基金(国保連合会)に提出いただき、チェックの上、情報提供を行っていくと要請した。

次回は平成29年7月に行う予定である。

5. 調査室委員会 [1/10(火)]について

(5階医師連盟会議室)

大輪理事より、働き方ビジョン検討会、医師の団体の在り方検討委員会の動向についての解説・議論がなされたと報告。また、勉強会の開催、代議員会での決議作成については次回以降の検討事項となり、その他、Twitter・MEDIFAX記事について解説、意見交換を行ったと説明された。

また、10万人の医師を対象とした厚労省の「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」については、12月21日が提出期限であったが回収率が低調で、現在も回収中であると説明された。

6. 母体保護法指定医師審査委員会 [1/11(水)]について

(801会議室)

伊藤(富)理事より、母体保護法指定医師審査対象者について審査を行い、了承されたと報告。また、氏名変更した母体保護法指定医師が旧姓使用を希望した場合は、医師免許証と氏名を統一することで了承されたと説明された。

日医の見解では、旧姓使用は可能であるが、指定証と医師免許証は同名で統一す

ることが望ましい。最終的には各都道府県に委ねるとの回答であったと補足された。

7. 学校保健部会幹事会 [1/10(火)]について

(6階研修室)

瀬瀬理事より、3月5日(日)に開催する学校保健シンポジウムの内容について説明があり、日医が実施している「学校医の現状に関するアンケート調査について」協力依頼を行ったと報告された。

8. 広報委員会 [1/11(水)]について

(501会議室)

瀬瀬理事より、愛知医報のトップ掲載予定や表紙掲載写真・新春特集頁等について検討したと報告された。また、企業から掲載依頼された広告等の掲載可否についても検討し、掲載することとしたと報告された。

9. 救急医療情報センター年末年始期間中の案内状況について

細川理事より、期間日数が昨年より2日少なかったため、総受信件数は昨年より234件少なかつたが、1日あたりの件数は207件増加したと説明された。増加の要因としては、全国的な暖冬であったが、ノロウイルスの流行で患者が増加したためであると思われる。また、インターネットの利用状況は、利便性の高いスマートフォンからのアクセスが多くかったと説明された。

10. 講演会・研修会等について

柵木会長より、下記のNo.1~4の本会主催の講習会・研修会等は一括報告すると発言された。

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	1/12(木)	健康教育講座	314名	瀬瀬理事 吉田理事
2	1/13(金)	産業医研修会	45名	西山理事 樋尾理事
3	1/14(土)	第32回学校保健健診懇談会	107名	瀬瀬理事 吉田理事
4	1/14(土)	平成28年度認知症サポート医フォローアップ研修	87名	野田理事 林理事

【その他事項について】

11. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成29年1月19日